

10秒

原爆炸裂から3秒のあいだに放射された赤外線が熱傷をあたえたあと、想像を絶する爆風がまちをなぎ倒していく。炸裂から10秒後には爆心地から3.7キロ地点まで爆風が到達し、人や建物が大きな被害を受けた。

